

Press Release:2012.11.6

PARC:Creator Support Project #03 Yamamoto Seiko Exhibition

円の手ざわりはつるつるかざらざらか 山本聖子 展

2012年11月24日[土] — 12月9日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



【画像01】
六甲ミーツ・アート芸術散歩2012
展示風景

ご案内

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、現在活躍する・またこれから注目を集める様々なクリエイターを取り上げ、発表の機会を提供することで、その活動をサポートする「PARC_ Creator Support Project」に取り組んでいます。一昨年の#01「Sampling Your Memory: ヤマガミユキヒロ」展、昨年の#02「Mars: 国谷隆志 展」に続く#03として、11月24日から12月9日まで「円の手ざわりはつるつるかざらざらか: 山本聖子展」を開催いたします。

山本聖子(やまもと・せいこ / 京都・1981~)は、2004年に大阪芸術大学を卒業、2006年に京都造形芸術大学大学院を修了後、京都と東京での個展開催の他、2010年に国際芸術センター青森でのレジデンス、2011年にはVOCA展出品をはじめ、六甲ミーツ・アート芸術散歩2011(六甲高山植物園)にて公募大賞、東京ミッドタウンプログラム: ストリートミュージアム(東京ミッドタウン内)にてアートコンペ・グランプリを受賞するなど、高い評価を獲ています。とりわけ、不動産の挟み込みチラシにある「間取り図」を丁寧に切り取り、ラミネートパウチして再度切り抜いた無数のパーツを立体へと構成する一連の作品は、私たちの生活空間の画一性ととも、一見すると無機的なタテとヨコの線へと還元された「間取り図」が、なおも見せる有機的な美しさをあわせて見ることができます。

幼少の頃からニュータウンで育った山本は、内側(プライベート)を感じさせない均質な間取りの集合を原風景に持ち、その機能性・合理性優位な街に暮らすなかで、自身の感覚機能の衰えに焦燥感を感じずにはいらなかったといいます。「間取り図」の作品では、その無機的な記号から情報や意味を切り落とし、線による幾何学的な形へと還元した果てに、再び物質としての存在感を見いだす事が、世界と自分の存在を確認することだったといえるかもしれません。

本展では山本がこれまで一貫して見据えようとしている「幾何学」的への視点とともに、間取り図の作品に見る「内:外」といった関係項、開催中の六甲ミーツ・アート芸術散歩2012で見た、「向こう:こっち」に存在する「距離」に焦点をあわせ、会場内に大型のインスタレーションを展開します。

関西では久しぶりとなる今回の個展を通じて、その視線を追いかけるうち、世界の在り様の断片を知る事が出来るのではないのでしょうか。

Press Release:2012.11.6

PARC:Creator Support Project #03 Yamamoto Seiko Exhibition

円の手ざわりはつるつるかざらざらか 山本聖子 展

2012年11月24日[土] — 12月9日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、info@galleryparc.com【迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 PARC:Creator Support Project #03 円の手ざわりはつるつるかざらざらか 山本聖子 展

出品作家 山本 聖子(やまもと・せいこ)

会 期 2012年11月24日(土) — 12月9日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊・最終日18:00まで

主 催 Gallery PARC

料 金 無料

展示内容 【インスタレーション】

2011年の「六甲ミーツ・アート芸術散歩2011」(六甲高山植物園)にて公募大賞、東京ミッドタウンプログラム:ストリートミュージアム(東京ミッドタウン内)にてアートコンペ・グランプリを受賞するなど、これまでに高い評価を獲ている山本聖子による個展。

不動産の挟み込みチラシにある「間取り図」を丁寧に切り取り、ラミネートパウチして再度切り抜いた無数のパーツを立体へと構成する一連の作品は、私たちの生活空間の画一性とともに、一見すると無機的なタテとヨコの線へと還元された「間取り図」が、なおも見せる有機的な美しさをあわせて見るができます。

関西では久しぶりとなる今回の個展では、「間取り図」作品をはじめ、新たな作品展開を含む新作インスタレーションを公開いたします。

会 場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

【Tel & Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com 【HP】http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。

三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

本展開催期間中につき、パルク1階カフェ[ル・グランマーブル カフェ クラッセ]に本展DMをご提示の場合、ご飲食に限り10%OFFいたします。

問い合わせ Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

【Tel & Fax】075-231-0706

【Mail】info@galleryparc.com



Press Release:2012.11.6

PARC:Creator Support Project #03 Yamamoto Seiko Exhibition

円の手ざわりはつるつるかざらざらか 山本聖子 展

2012年11月24日[土] — 12月9日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで

【statement】

円の手ざわりはつるつるかざらざらか

「円は無数の多角形であることを証明する数式があるんだよ。」

その言葉を聞いたとき、私の中で何かが崩落した。

それもわりと大きなものが。

円を完璧なものとして敬い憧れ続けてきたそれまでの私はいったいなんだったのか。

それからの数週間、私はまるいものを見れなくなった。

それから少し経ってなんとか精神を回復させ、私を絶望の淵に落としこんだ友人に数式の説明を求めた。

結果、納得しなかった。

しかしこの一連の出来事は私に新たな感覚を想起させた。

円に無数の角があることを1000歩譲って認めるなら、その手ざわりはいったいどんなだろう。

絵画の中の女性の肌のやわらかさを想像することはあるけれど、図形の手ざわりなんて考えたことも無い。

いったい円の手ざわりはつるつるなのだろうか、それともざらざらなのだろうか。

私は幼少の頃からマンションの立ち並ぶニュータウンで育った。

そこは便利で快適ではあるものの、内側にあるはずの人間の生活を見せることを過剰なほどに拒む。

プライバシーを守ることと引き換えに街は均質化し、あらゆる感覚機能はどんどんと衰えていく。

私は焦燥感を感じずにはいられなかった。

私は広告から間取り図を無数に切り抜くことで奪われた感覚を取り戻したかったのかもしれない。

それは二次元へと圧縮された間取り図を三次元へと引き戻すかのような作業で、世界と自分の存在を確認することなのだ。

無数に組み合わせた間取り図は、情報は無く、意味を失い、タテとヨコの線へと還元される。

フレームとして、幾何学的な形として、ただただ物質としてそこに存在する。

幾何学的なかたちに無性に憧れる。それはあらゆるくだらなさを超えた世界があることを示唆してくれる。しかしそんな憧れを抱きながら、同時に日々の欲求を否定することもできない。時に円をつるつると思い、時にざらざらと思い、時に手ざわりを否定しながら、自分に都合よく解釈しながら生きている。



【画像03】

ただ、山である

2011年 塩化ビニールシート、山 112×1664cm
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2011」出品作品

Press Release:2012.11.6

PARC:Creator Support Project #03 Yamamoto Seiko Exhibition

円の手ざわりはつるつるかざらざらか 山本聖子 展

2012年11月24日[土] — 12月9日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで

【作家略歴】

- 1981 京都府生まれ
- 2006 京都造形芸術大学大学院芸術研究科 修了
- 2004 大阪芸術大学芸術学部美術学科 卒業

■個展

- 2012 「細かいことは気にせずに、ただそこに在るものを見つめてほしいのだ」
- (中ノ島4117 内ポストギャラリー / 大阪)
- 2010 「空白な場所」新世代の視点2010・画廊からの発言(コバヤシ画廊企画室 / 東京)
- 2009 「空の風景」(コバヤシ画廊 / 東京)
- 2006 「私とあなたは同時にそれを見た」ギャラリー16(京都)

■グループ展

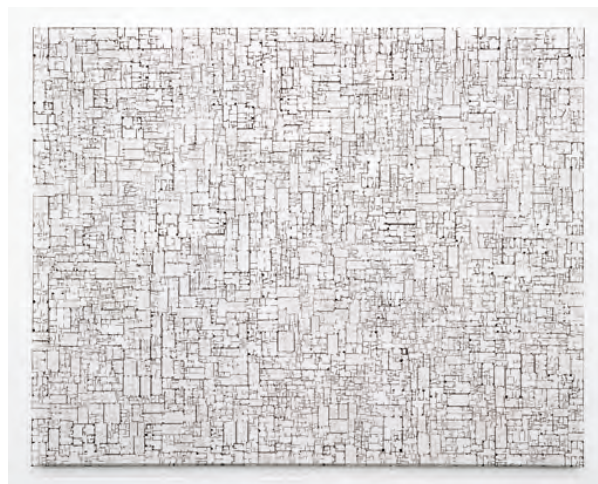
- 2012 二次元と三次元のはざま(artspace ARTZONE / 京都)
- 東京ミッドタウンプログラム ストリートミュージアム(東京ミッドタウン内 / 東京)
- 日常の冒険—現代の若手作家たち-(札幌大通駅地下ギャラリー500m美術館 / 北海道)
- 六甲ミーツ・アート芸術散歩2012(六甲高山植物園 / 兵庫)
- 第1回コンテンポラリーアート ハラバ国際会議関連企画展覧会
「空虚と風景」(ベラクルス州立大学付属AP ギャラリー / ハラバ、メキシコ)
- 2011 VOCA2011 展 (上野の森美術館 / 東京)
- 六甲ミーツ・アート芸術散歩2011(六甲高山植物園 / 兵庫)
- Tokyo Midtown Award 2011 (東京ミッドタウン内 / 東京)
- 多摩美術大学芸術研究科展覧会設計ゼミ企画『Drop me』(似て非works / 横浜)
- Message 展(コバヤシ画廊 / 東京)
- 2010 吃驚(国際芸術センター青森 / 青森)
- Message 展(コバヤシ画廊 / 東京)
- 2009 Message 展(コバヤシ画廊 / 東京)
- Polyphonic.(KCPF ギャラリー / 韓国・ソウル)
- 2007 Xhibition 展 (ギャラリーRAKU / 京都)
- 2006 京都造形芸術大学卒業制作展 (京都市美術館 / 京都)
- 第二回P & E展 (アートコートギャラリー / 大阪)
- 2005 第一回P & E展 (アートコートギャラリー / 大阪)
- 2人展「指先を待つ」 オープンスタジオ (京都造形芸術大学内 / 京都)
- 2004 大阪芸術大学卒業制作選抜展
- 2003 羽礮展 (大阪芸術大学内 / 大阪)

■受賞

- 2011 六甲ミーツ・アート芸術散歩2011 公募大賞
- Tokyo Midtown Award 2011 アートコンペ グランプリ
- 2004 学長賞(大阪芸術大学卒業制作展)

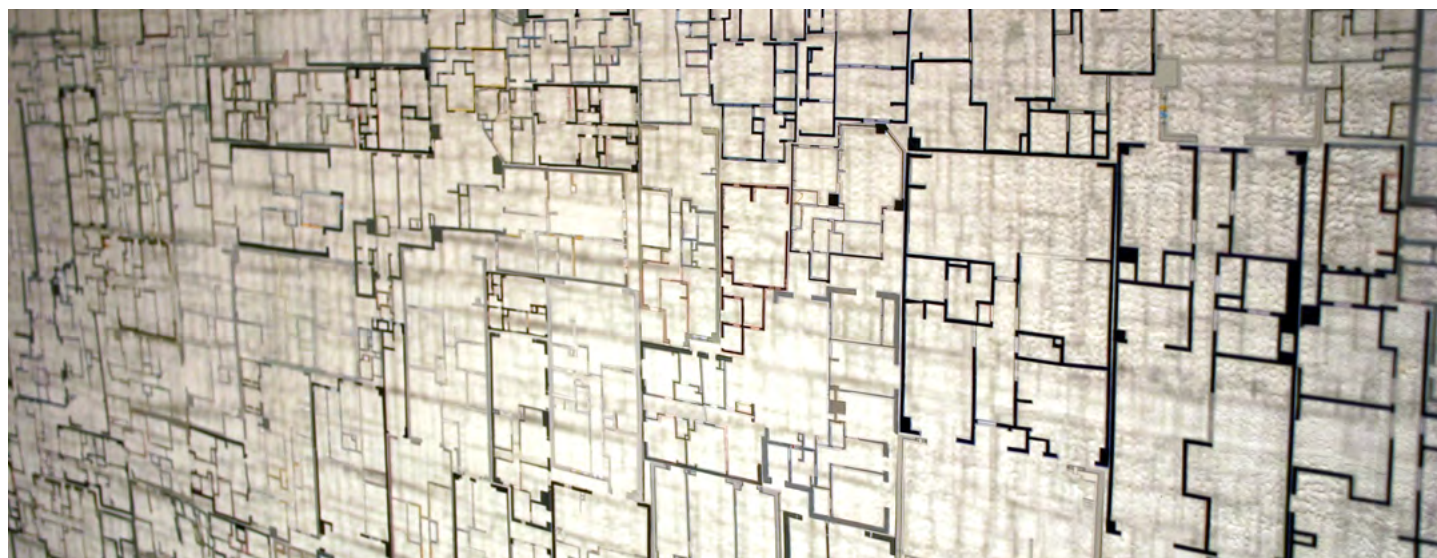
■レジデンス

2010.9~11 国際芸術センター青森 秋AIR プログラム



上【画像04】
olid drawing of emptiness
2011年 物件広告間取り図、ラミネート、アクリル、木 250×200×9.5cm
撮影 上野則宏

下【画像05】
olid drawing of emptiness
ディテール



Press Release:2012.11.6

PARC:Creator Support Project #03 Yamamoto Seiko Exhibition

円の手ざわりはつるつるかざらざらか 山本聖子 展

2012年11月24日[土] — 12月9日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



【画像06】

independent empty

2010年 物件広告間取り図 ラミネート 510×560cm
国際芸術センター青森での展示



左【画像07】

frames of emptiness

2011年 物件広告間取り図、ラミネート、鏡、木、アクリル 105×105×180cm
Tokyo Midtown Award 2011 アートコンペ グランプリ作品

右【画像08】

frames of emptiness

ディテール

